



NEWS LETTER



これからの地方自治・地方政策を考える 連続自治体特別企画セミナー

報告

第1回セミナー

5月22日(木)、滋賀県湖南市の谷畑英吾(たにはたえいご)市長をお迎えし、「地方自治の楽しみ方～ナンバー1よりオンリー1～」を開催しました。谷畑市長にご講演頂いたあと、本学公共政策学部の杉岡秀紀(すぎおかひでのり)講師と対談していただきました。

湖南市は児童福祉施設「近江学園」の所在地ということから、「湖南市発達支援システム」など障害者福祉のお話から、教育、まちづくり、地域おこし協力隊について等、各方面の湖南市の取組を紹介、最後に「地域に飛び出せ公務員」という言葉を残していただきました。



【参加者の声】

- ・常識にとらわれない発想力、自ら限界を設けない実践力と実行力。谷畑市長のお話を楽しく聞かせていただきました。(議会議員)
- ・これまでの公務員のイメージの枠を超えるお話に勇気づけられました。(京都府内市町村職員)
- ・圧倒的な情報量に驚きました。今まで「地域に飛び出す公務員」に懐疑的な考えを持っていましたが、180°転換できたように思います。そして、仕事を楽しむことだと感じました。(京都府内市町村職員)
- ・自治に関して非常に生き生きとした実践的なお話が何えて大変面白かったです。アイデアが豊富に披露されて刺激的でした。着想をかき立てられ、今後の勉強の励みになりました。(他大学学生・院生)
- ・自治のあり方は多様であること、これまでのパラダイムを転換させる視点など、参考となった。(京都府立大学学生・院生)
- ・湖南市の多彩な取組を拝聴して、とても参考となった。トップダウンのアプローチは理解できるが、実務レベルでどうボトムアップと整合させてうまく政策として実現されているのか知りたいなと感じました。(京都府内市町村職員)

お知らせ

連続自治体特別企画セミナー 年間計画

- 第2回 7月10日(木)
- 第3回 9月25日(木)
- 第4回 11月27日(木)
- 第5回 2月12日(木)

*時間は全て、15:00～17:15を予定しております。

◆ 詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319

mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

2014年7月1日発行

第2回セミナーのご案内

「縮小時代の自治体経営についてー自律自治体の形成を目指してー」

7月10日(木) 15:00～17:15

場 所：京都府職員研修・研究支援センター 2F 視聴覚室

講 師：西寺 雅也(にしでら まさや)氏(名古屋学院大学教授/元岐阜県多治見市長)

対談者：川瀬 光義(かわせ みつよし) 教授(京都府立大学公共政策学部)

西寺氏から…

人口減少、高齢化、財政縮小の時代の自治体経営は自律的に行わざるを得なくなっている。限られた政策資源をいかに有効に活用するかが問われている。そのため次のことが自治体に求められる。

- ①政策選択を巡る合意形成を図る。市民・議会・長一行政間の議論の場、「参加」のしくみを構築する。(総合計画の策定と運用)
- ②自治体政治の基本的原則を明示し、それに基づく政治が展開する。(自治基本条例制定)
- ③財政規律を確立し、市民との情報共有を図らなければならない。(財務条例制定)

場当たりの対応を排除し、「総合的かつ計画的な」自治体経営を目指すことが不可欠であり、地域社会の現実を直視し、未来を展望する中で困難な課題に立ち向かうことが求められ、この困難な時代、自治体改革が不可避のものとなっていることを確認する。

*お申込はメール、電話、FAXにて受け付けております。
また、ホームページでも年間計画をご覧頂けます。

<http://www.kpu.ac.jp>



写真は「久多の夢を語る会」の様子。

昨年度は写真（左）のように青山センター長がファシリテーターを務めてきましたが、それも今年度最初の今回の導入部分で終わりにし、これからは住民の方が司会を務めます。

KPIの体制について

今年度の事務局体制について

KPIが新しいメンバーで動き始めて、7月1日で2ヶ月が経ちます。前号では、4月1日からKPIメンバーに加わった川勝健志准教授からコメントをさせていただきました。今回は、藤沢実准教授の後任として5月1日より着任した菱木智一（ひしき ともかず）准教授がコメントさせていただきます。

お知らせ

菱木准教授から一言



5月から着任した菱木です。京都府庁へ帰任した藤沢先生に替わりKPIのスタッフとなりました。府からの派遣教員としてKPIに関わるのは私で四代目ということで、そろそろひとつの区切りを迎える頃かと考えています。私としては、次のステージへのステップアップを念頭に置きつつ、これまで大学と地域や、行政と企業を結びつける仕事を主に経験してきましたので、ここでは「走りながら考える営業マン」として地域課題の解決のために奔走したいと思っています。

ACTR

宮津市とのACTR継続が決定しました

KPIでは京都府立大学地域連携センターの地域貢献型特別研究に今年度も応募し、昨年度に引き続き宮津市に関するACTR「北前船まちづくりの活性化（構想実現と寄港地連携）」が採択されました。5月23日（金）に最初の打ち合わせを行い、今後は昨年同様、宮津と京都府立大学を行き来しての活動が始まります。これまでの蓄積を基に、実践へとつなげていきたいと思っています。

報告

本学男女共同参画推進室とともにACTRに取り組みます

本学の男女共同参画推進室が応募し、採択された「京都府男女共同参画センターの新たな役割と市町村支援のあり方」に、KPIは協働研究者として取り組むこととなりました。6月6日（金）に最初の打ち合わせを行い、7月中旬に第2回打ち合わせ、夏休み以降にヒアリング調査を実施する予定です。

受託研究

京都府との協働研究が決定しました

KPIでは毎年京都府との協働研究を実施しています。今年度は以下の3つのテーマについて協働研究を実施します。

報告

- ①市町村行革支援プログラム（協働研究先：総務部自治振興課）
- ②プロボノに関する実態調査（協働研究先：府民生活部府民力推進課）
- ③大学・地域連携のあり方についての調査研究（協働研究先：政策企画部戦略企画課）

京都市左京区からの受託研究が決定しました

昨年度に引き続き、京都市左京区役所地域力推進室とともに、左京区久多地域のまちづくりのお手伝いを進めていきます。6月12日（木）から、今年度の久多でのワークショップもスタートしています。

KPIリレーコラム

今回は、ACTRなどでご協力頂いている三橋教授に登場いただきます！

府大「地域の光」デザイナー
三橋 俊雄
(生命環境科学研究科教授)



私は、学生時代にホイジンガーの「ホモ・ルーデンス(遊戯人)」と出会って以来、自分の生き方として目標にしてきました。そこで、残りあと1年となった2014年はできるだけ遊ぶ＝楽しむ＝チャレンジする気持ちで、また「脱・予定調和」の気構えで、「春巻君（研究室のウサギ・8歳）」とともにがんばっています。

先日、民族学博物館まで、台湾の留学生（台湾先住民研究ともう一人は台湾竹研究）に誘われて、映画「海角七号」を見に行ってきました。日本統治時代に台湾に赴任した日本人教師が終戦後恋人を残して内地に引き上げる話が、60年後の現代、ミュージシャンを夢見る台湾青年と日本人女性との恋へとつながっていく物語でした。映像からは、戦後今でも熱いまなざしを送り続けている台湾の方たちの涙が出るほどの日本への「想い」を感じずにはいられませんでした。

国を越えて文化を越えて、民族の深奥に触れることができる教師という今の立場に感謝しています。



KPIのfacebookにアクセスして情報をチェック！

<http://www.kpu.ac.jp>